

平成25年度（通期） 指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課： 市民自治 部 まちづくり 室 まちづくり推進 課

1. 基本情報

201

施設名	伊丹市立市民まちづくりプラザ						
施設の設置目的	市民の参画と協働によるまちづくり活動の推進を図る。						
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	基本目標：市民が主体となったまちづくりの実現 基本方針：参画と協働による市民自治						
指定管理者の名称	特定非営利活動法人 阪神・智頭NPOセンター (団体の住所又は所在地) 伊丹市桑津2丁目3番29号						
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	公募	平成 24 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日					
管理運営上の目標 (管理運営を行う上での指定管理者の具体的目標)	指標名	来館者数					(単位： 人)
	指標の意味	年間の来館者					
	今年度の目標値	13,500	今年度の実績値	13,168			

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17	H21	H22	H23	H24	H25 (上期)	H25 (通期)
	来館者数 (人)		6,515	7,598	13,224	12,714	13,424	6,090
講座開催回数 (回)		18	11	59	76	128	111	212
講座参加者数 (人)		590	950	1,350	995	2,907	695	2,083
								-

H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 管理経費等

平成25年度指定管理者の収支状況 <単位:千円>	計画（通期）		実績（通期）	
	<収入の部>		<収入の部>	
	指定管理委託料	7,895	指定管理委託料	7,895
	事業収入（講座料収入等）	0	事業収入（講座料収入等）	139
	合計	7,895	合計	8,034
	<支出の部>		<支出の部>	
	人件費	4,792	人件費	4,792
	維持管理経費	2,259	維持管理経費	2,285
	事業等経費	844	事業等経費	818
	自主事業経費	0	自主事業経費	139
合計	7,895	合計	8,034	
<収支差>		<収支差>		
収入合計 - 支出合計	0	収入合計 - 支出合計	0	

施設の管理運営に係る実質経費（市の負担） <単位:千円>		H21	H22	H23	H24	H25	H26
	市の収入		0	0	0	0	0
（内、使用料収入）		0	0	0	0	0	-
市の支出		13,372	13,441	13,531	13,898	13,940	-
（内、指定管理委託料）		7,350	7,460	7,500	7,895	7,895	-
実質経費（歳出 - 歳入）		13,372	13,441	13,531	13,898	13,940	-

施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的 to 実施し、常に清潔に保たれているか。	B		B	仕様書に基づき、適切に管理業務を行っている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B			
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B			
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B			
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B			
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	A	協定で2名配置のところを、正職員2名のほか非正規職員2名を配置し、機動力ある市民対応が可能となるように努めています。防火防災管理者資格を持った職員を配置するほか、防災カフェなどの定期的な実施により、職員がAEDの使用訓練を行うなど協定外の様々な取組も行っている。	A	仕様書に基づき、適切かつ必要な職員配置を行っているところ、3名体制で業務に取り組む日もある。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B		B	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	A		A	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	リータが定期的 to 開催する防災訓練が毎回定休日にあたるにも関わらず、積極的に参加し防火防災の際の避難経路の確認を行うほか、自主的な確認作業に努めている。	B	仕様書に基づき、適切に管理業務を行っている。
		避難訓練を実施しているか。	A		B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	B		B	仕様書に基づき、適切に管理業務を行っている。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B			
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B			
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B			
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B		B	仕様書に基づき、適切に管理業務を行っている。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B			
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	HPでの情報発信はTEXTベースの発信にとどめることなく、動画などを駆使して立体的な情報発信を行っている。またFacebookや地域SNSなどを使い機動力のある新鮮な情報発信に努めている。	B	HP・広報を通じて積極的な情報提供をし、SNS等を通じてイベントの様子などを早い段階で報告している。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B			
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A			
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B		B	仕様書に基づき、適切に管理業務を行っている。
経理処理は、適切に行っているか。		B				

「評価」欄の記号の意味

「A」= 協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「C」= 協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「B」= 協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「-」= 当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	昨年度に引き続き、利用者の増加に向けて創意工夫した事業を展開するとともに、市民の意識に寄り添ったまちづくり活動支援を行っている。平成26年度は公募型協働事業提案制度が始まるため、市民の目線に立ちながら、行政と市民団体との調整役を担って貰いたい。
総合評価	
B	

「総合評価」欄の記号の意味

「A A」=管理運営が非常に優れていると認められる。

「B」=管理運営が適正であると認められる。

「A」=管理運営が優れていると認められる。

「C」=管理運営が改善を要する水準である。

利用者満足度調査(アンケート)結果と対応 【実施期間】平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

実施の有無	主な回答	主な対応
無し		
回答者数		

5 . 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置
登録団体によるイベント会場としての利用等で占用使用になる場合について、他団体の利用の妨げにならないよう、利用方法の周知の仕方を見直す必要がある。	イベント利用時に、管理者より注意を徹底する。